

はじめに

令和二年度は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行の中、日常的なマスクの着用や消毒の実施、社会的距離の確保など人々の生活様式が大きく変わることとなった年でした。

多くの人々が、感染拡大の防止に取り組む一方で、昼夜を問わず最前線で御尽力されている医療従事者の方々や、患者・濃厚接触者の方に対する不当な偏見や差別といった問題も発生していることは、誠に残念です。

それに加え、いまだに、いじめの問題、児童虐待、障害のある人や高齢者に対する人権侵害、インターネット上で誹謗、中傷の書き込み等、悲しく痛ましい人権問題も発生しております。

こうした中、人権についての理解を深めるとともに、日常生活の中で人権への配慮が態度や行動に現れるような人権感覚の育成に主眼を置いた人権教育の充実が一層求められています。

「はばたき」には、子供の豊かな感性で人権についてとらえた作品が載せられています。思いやりに満ちた温かい心や社会のあり方を鋭く突いたまっすぐで純粋な気持ちにあふれた子供たちの文章には、人の心に響くものがあります。この「はばたき」が、学校や地域・家庭等で広く活用されること、手に取った方々が、他人の痛みに気付いているか、偏見や差別の種が隠れていないか、人権を尊重できているかなど、自分自身の心を見つめ直すきっかけとなることを切に願っております。

おわりに、すばらしい作品を応募してくださった児童生徒の皆さん、御指導をいただいた学校の先生方、刊行にあたって御協力いただいた編集委員の皆様には厚くお礼申し上げます。

令和三年三月

埼玉県教育局市町村支援部人権教育課長

阿部 仁